

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公開番号】特開2009-293304(P2009-293304A)

【公開日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-050

【出願番号】特願2008-148973(P2008-148973)

【国際特許分類】

E 0 5 F 7/00 (2006.01)

E 0 6 B 3/48 (2006.01)

【F I】

E 0 5 F 7/00 B

E 0 6 B 3/48

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月24日(2010.2.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

左右戸板（11，12）を有する折戸（10）に取り付けるための指詰め防止装置（40）であって、

（i）左右羽根板（21，22）と、前記左右羽根板を回動自在に結合させる軸ピン（25）と、前記軸ピンを支える軸受（26）とからなる蝶番（20）と、

（ii）前記左右戸板（11，12）の隙間（17）をふさぐ形状の遮蔽カバー（43）と

、  
（iii）前記蝶番（20）と前記遮蔽カバー（43）を連結する連結棒（41）とを有することを特徴とする折戸の指詰め防止装置。

【請求項 2】

前記連結棒（41）の頭部（41b）から前記折戸（10）の外側に向かって 2 本の開脚パネ（45，46）が延びており、この開脚パネ（45，46）の先端が前記蝶番（20）に設けられた突起（47，48）に差し込まれて固定されている請求項 1 記載の装置。

【請求項 3】

前記遮蔽カバー（43）が左右戸板（11，12）の隙間（17）を移動する延長部（44）を有する請求項 1 又は 2 記載の装置。

【請求項 4】

折戸閉鎖位置への移動強制装置をさらに有する請求項 1 ないし 3 の何れかに記載の装置。

【請求項 5】

前記羽根板の蛇行調整装置をさらに有する請求項 1 ないし 4 の何れかに記載の装置。

【請求項 6】

請求項 1～5 の何れかに記載の指詰め防止装置を取り付けた左右戸板（11，12）からなる折戸（10）。

【請求項 7】

前記左右戸板（11，12）の遮蔽カバー（43）取付位置に切り込み（15，16）

が設けられている請求項 6 記載の折戸（ 1 0 ）。